

第4回 夢洲まちづくり推進本部 会議要旨

1 日 時 令和4年12月21日(水) 15時30分～15時55分

2 場 所 大阪市役所 本庁舎5階 特別会議室

3 議 題

○開会

○議事

(1) 夢洲まちづくり推進本部設置要綱の改正について

(2) 主な動きについて

(3) 今後の予定について

・夢洲第2期区域のまちづくりの方向性について

○閉会

4 出席者

<出席者>

大阪市長	松井 一郎
大阪府副知事	田中 清剛
大阪市副市長	高橋 徹
大阪府・大阪市万博推進局長	彌園 友則
大阪府・大阪市万博推進局理事	藁田 博行
大阪府・大阪市I R推進局長	坂本 篤則
大阪府・大阪市大阪都市計画局長	角田 悟史
大阪府・大阪市大阪港湾局長	丸山 順也
大阪市都市交通局長	西川 匡
大阪市計画調整局長	寺本 讓
大阪市環境局長	堀井 久司
大阪市建設局長	渡瀬 誠

<事務局>

大阪都市計画局	拠点開発室	副理事	正垣 啓之
大阪都市計画局	拠点開発室	広域拠点開発課	参事 臼田 利之

5 議事の内容

○開会

⇒市長から開会のメッセージ

- ・夢洲まちづくりについては、大阪・関西万博開催の機運を逃すことなく、跡地のまちづくりを実現するために、万博開催前に夢洲第2期区域のめざす姿を示していきたい。
- ・そのためには、民間事業者のニーズやアイデアを最大限に取り入れながら、まちづくりの条件を定めていかなければならない。
- ・本日は、直近で実施予定のマーケット・サウンディングや、その先の事業者公募の元となる「まちづくりの大きな方向性」、今後のまちづくりを含めた進め方の議論をしたいと思うので、よろしく願います。

(1) 夢洲まちづくり推進本部設置要綱の改正について

⇒事務局より、「夢洲まちづくり推進本部設置要綱」の改正について報告・説明を行った。

(2) 主な動きについて

⇒事務局より、これまでの夢洲まちづくり推進本部における検討状況及び令和3年2月に開催した第3回会議からの取組について報告・説明を行った。

(3) 今後の予定について

⇒事務局より、夢洲まちづくりに関連する今後の予定として、夢洲第2期のまちづくりの方向性について説明を行った。

(副知事より)

- ・私からは3点お願いしたい。
- ・一つ目は、マーケット・サウンディングの後、具体的なまちづくりを進めるにあたっては、府市の関係部局の一層の連携が必要となってくるため、実務レベルの連携体制の構築をぜひお願いしたい。
- ・2つ目は、マーケット・サウンディングにおいて、規制緩和や制度の弾力的な運用を前提とした提案も可能であることを積極的に発信し、早めにニーズを捉えて可能性を検討する時間を確保してもらいたい。
- ・3つ目は、夢洲まちづくり構想に記載のある鉄道の北ルートについて、事業者公募の段階で計画について説明できるよう、整理を進めてもらいたい。

⇒（都市計画局長）

- ・関係部局間の連携については、本日お集まりいただいた部局並びに他の部局とも連携の必要があると考えているので、様々な課題に対応できるような実務者レベルでの議論検討体制を構築してまいりたい。
- ・規制緩和については、民間事業者と対話できるよう、マーケット・サウンディングの開始時にお示ししてまいりたい。
- ・鉄道北ルートの実業実施に向けては、まちづくりの進捗やそれに応じた需要を十分に把握する必要があるため、民間事業者との対話の中でも夢洲の1期、2期、3期のまちづくりの進捗を踏まえて検討していくことをお伝えしてまいりたい。

(副市長より)

- ・先ほど市長から、マーケット・サウンディングでは民間事業者のニーズを最大限に捉えるべしとのコメントがあったが、具体的な進め方やスケジュールについて教えてもらいたい。

⇒ (事務局より)

- ・マーケット・サウンディングは、明日からでも開始できるよう準備を進めている。
- ・進め方としては、説明会や質問受付などにより、サウンディングの趣旨を十分ご理解いただけるように取り組み、2月末頃を参加申込の期限としていきたいと考えている。
- ・提案書の提出は5月中旬を期限とすることで、検討に十分な時間を取りたいと考えている。
- ・提案書提出後も、民間事業者と十分に対話できる時間を取るなど、マーケット・サウンディングを丁寧に進め、来年夏頃には実施結果の概要をまとめてまいりたい。

(副市長より)

- ・土地条件については、この間議会でも質問があったが、マーケット・サウンディングにおいてどのように提示しようと考えているのか。

⇒ (大阪港湾局長より)

- ・土地価格については、近傍地事例としては、1期のIR用地しかないため、その価格を参考価格として示すことになるが、お示しする際には、第2期の公募時に改めて土地鑑定を行うことなどを、しっかりとお伝えするよう考えている。

- ・また、液状化といった土地課題については、この間、判明している夢洲の現状についてご説明するとともに、これに対する対策は、相手方が提案される具体的な施設の用途・規模などに応じて異なることから、これらを踏まえて対応を検討してまいりたい。

(副市長より)

- ・マーケット・サウンディングを通じて、民間事業者のニーズや条件をしっかりと把握してもらいたい。
- ・今回の夢洲第2期のマーケット・サウンディングでは、大阪ヘルスケアパビリオンは対象敷地から除くこととしているが、パビリオン部分についても、今後パビリオンにかかるマーケット・サウンディングによって土地利用を考えていくこととなると思う。

大阪都市計画局と万博推進局で、しっかり連携しながら進めてもらいたい。

○閉会

⇒市長から閉会のメッセージ

- ・夢洲第2期区域については、大規模なエンターテイメント・レクリエーション機能などを導入できるよう、まちづくりの方向性をこれまで検討してきた。
- ・1期区域との連携も重要であるし、万博はSDGsをテーマにしているので、万博の資源をできる限り利用できるよう、マーケット・サウンディングで民間事業者と協議してもらいたい。
- ・本日の議論を受けて、夢洲第2期区域のマーケット・サウンディングを、明日から開始する。
- ・夢洲については、大阪・関西の成長をけん引する、日本のどこにもない国際観光拠点となるよう、最大限の魅力をつくれるものを見つけてもらいたい。
- ・それを成功させるためには、引き続き府市一体となって事務レベルでの連携を強化し、事業を進めてもらいたい。